



ふくやま
東西北警察署

管内犯罪情報通信

2014.
6. 30
特別号

発信元 東学区防犯組合

～広島県警本部（犯罪情報官速報）より～

老後の生活に不安を感じている 高齢者を狙った詐欺事案が多発しています

－こうして詐欺の被害に遭いました－

今年5月中旬頃、福山東警察署管内で70歳代の女性の家へ、介護施設の職員を名乗る男から電話がかかってきました。



男「医療設備完備の老人介護施設を〇〇に新設する計画を進めています。今のタイミングでこの計画に参加していれば、施設が完成すれば優先的に入居権利が与えられますが、いかがでしょうか？」

この第一回目の電話を機に、その後は毎日のように勧誘の電話があり、パンフレットのようなものも送られてきました。何度もやりとりしている内、断っても断っても警察沙汰にするぞと威され、強引に承諾させられてしまいました。

そうしたある日、再び男から電話がかかってきました。



男「あなたに介護施設入所の権利が当たりました。権利を確保するためには早急に権利金として600万円支払って下さい。」

女性は「急いで入居するつもりもないし、そんな大金もない」と断りました。すると、



男「あなたは以前に申し込みを承諾しているので、断れば違約金の支払い義務が発生します。支払いをしなければ裁判沙汰になります。」

などと脅してきました。さらには、



男「これは大変価値の高い権利なので、ほしい人はたくさんいます。私方で権利を内緒で買い取ってあげることもできるのですが、権利金が期限までに支払われないと期限切れで権利がなくなってしまいます。とりあえず、権利留保金として半額の300万円を払っておけば、あなたの入居権利は保留継続されます。」

「ただし、支払いは権利者のあなたが払い込んで下さい。そうしないと権利の不正譲渡その他で警察の捜査が入り大変なことになります。」

「支払われた300万円は権利移譲後に返金してあげます。」

などと矢継ぎ早に話があり、女性は落ち着いて考えることも出来ませんでした。結局、女性は裁判や警察沙汰になるのを恐れて、言われるがまま「ゆうパック」で300万円を送ってしまいました。

☆『『ゆうパック』で現金を送れ』は、100%詐欺です。

☆高齢者、特に男性より女性の方が多く被害を受けています。

☆身内の人に限らず、近所の人の日頃からの相談相手になってあげましょう。

☆こうした電話は相手のペースに乗らないよう、早く電話を切りましょう。

